

研究所彙報

一 二〇二四年度研究所・所員リスト

教授	早矢仕 智子	(日本語教育学)
教授	市野澤 潤平	(文化人類学)
教授	石田 依子	(ジェンダー学)
准教授	川口 かしみ	(憲法学)
准教授	栗原 健	(宗教学・近世ドイツ史)
准教授	間瀬 幸江	(フランス文学・演劇)
准教授	松本 周	(悲嘆ケア、キリスト教社会倫理)
准教授	皆川 美雪	(臨床心理学)
教授	宮原 育子	(地理学・地域資源論・観光まちづくり)
教授	永田 貴聖	(文化人類学・移民研究)
教授	清水 禎文	(教育学)
准教授	杉井 信	(社会人類学)
教授	田中 一裕	(生態学)

名誉教授	天童 睦子（女性学・教育社会学）
教授	ティモシー・J・フェラン（異文化理解教育・異文化間コミュニケーション論）
教授	豊澤 弘伸（国語教育）
教授	八木 祐子（文化人類学・インド研究）
准教授	俞 轅 蘭（臨床心理学・家族心理学）
教授	吉村 典子（西洋美術・デザイン史）
客員研究員	阿部 隆（宮城学院女子大学名誉教授・人文地理学）
客員研究員	後藤（坂本）純子（元大阪市立大学文学部助教授・インド学・宗教学）
客員研究員	後藤 久太郎（宮城学院女子大学名誉教授・建築史）
客員研究員	平川 新（元宮城学院女子大学学長・日本近世史研究・歴史資料保存学）
客員研究員	井上 研一郎（宮城学院女子大学名誉教授・近世美術史）
客員研究員	犬飼 公之（宮城学院女子大学名誉教授・古代文学）
客員研究員	岩川 亮（元宮城学院女子大学准教授・フランス語学・文学）
客員研究員	J. F. モリス（宮城学院女子大学名誉教授・日本文化論）
客員研究員	片瀬 一男（東北学院大学教授・教育社会学・計量歴史社会学）
客員研究員	菊池 勇夫（宮城学院女子大学名誉教授・日本近世史）
客員研究員	木曾 恵子（東北学院大学および宮城学院女子大学非常勤講師・文化人類学・タイ地域研究・

ジェンダー研究

客員 研究員	九里順子	(宮城学院女子大学名誉教授・日本近代文学)
客員 研究員	丸山仁	(宮城学院中学校・高等学校教諭・日本中世史)
客員 研究員	森雅彦	(宮城学院女子大学名誉教授・西洋美術史)
客員 研究員	大迫章史	(東北学院大学教授・教育行政学)
客員 研究員	新免貢	(宮城学院女子大学名誉教授・宗教学)
客員 研究員	山極優子	(多賀城市教育委員会事務局埋蔵文化財調査センター・民俗学)
客員 研究員	安田容子	(東北大学災害科学国際研究所助教・生き物文化誌〈人と動物の関係史〉・日本近世美術史〈地方文人・画人研究〉)

二 共同研究について

本年度の共同研究は次のとおりである。

「南島における民族と宗教」

「多民族社会における宗教と文化」

共同研究の成果として、次の冊子が刊行された。

『沖縄研究ノート』No.34

『多民族社会における宗教と文化』No.28

三 二〇二四年度研究活動報告

公開シンポジウム

『観光人類学の新潮流 Hosts and Guests が拓いた五〇年とこれから』

二〇二四年十一月一〇日（日）一三時三〇分～一六時（Ⅱ講義館C四〇一教室）

企画・趣旨説明 市野澤 潤 平（宮城学院女子大学教授）

移動・移住の人類学における近年の研究動向

小 野 真由美氏（立命館大学文学部准教授）

新しいバリ観光の潮流…日本人移住者たちがつくる『楽園』

岩 原 紘 伊氏（聖心女子大学人間関係学科専任講師）

デジタル化時代の観光人類学

田 中 孝 枝氏（多摩大学グローバルスタディーズ学部准教授）

コメンテーター

山 下 晋 司氏（東京大学名誉教授）

橋 本 和 也氏（京都文教大学名誉教授）

福 井 栄二郎氏（島根大学文学部准教授）

公開講演会（共催 本学附属人文社会科学研究所）

二〇二四年一月八日（金） 一六時三〇分～一七時五〇分（＝本学講義館四階C四〇五教室）

企画・司会 松 本 周（本学一般教育部准教授）

信仰と人道の間（はざま）でーレッシング宗教哲学から学ぶ

講師 安 酸 敏 眞氏（学校法人北海学園理事長、北海学園大学名誉教授・前学長）

〈共同研究「多民族社会における宗教と文化」主催〉

第一回グリーンフケア公開講演会「命の大切さを学ぶ教室」 後援 宮城県警察

二〇二四年七月一二日（金） 一六時二〇分～一七時五〇分（＝本学講義館二階C二〇一教室）

企画・司会 松 本 周（本学一般教育部准教授、浅野 晴 哉（本学学芸学部准教授）

最愛の娘を失って 犯罪被害者遺族の思いと願い

講師 八 島 定 敏氏（犯罪被害者遺族 宮城県警察「命の大切さを学ぶ教室」講師）

第二回グリーンフケア公開講演会

二〇二四年一月二九日（金） 一六時三〇分～一七時五〇分（＝本学講義館三階C三〇八教室）

企画・司会 松 本 周（本学一般教育部准教授）

若年女性における命の課題 乳腺外科専門医の臨床と人生経験から

講師・尹 玲 花（インレイカ）氏（mamaria tsukiji 院長）

第三回公開講演会

二〇二四年二月一九日（木） 一六時三〇分～一七時五〇分（≪本学講義館二階C二〇一教室≫）

企画・司会 永田 貴聖（本学現代ビジネス学部教授）

『フィリピンパブ嬢の社会学』から舞台『マハルコ組曲』まで

講師 中島 弘 象氏

プロフィール…一九八九年、愛知県春日井市生まれ。中部大学大学院修了（国際関係学専攻）。会社員として勤務する傍ら、フィリピンパブを中心に取材や執筆活動を行う。著書に「フィリピンパブ嬢の社会学」（新潮新書）がある。

第四回グリーンフケア公開研究会

二〇二五年一月一〇日（金） 一六時三〇分～一八時（≪本学第二講義館K二〇三教室≫）

企画 松本 周（本学一般教育部准教授）

司会 清水 禎文（本学教育学科教授）

「植村環の悲嘆と信仰 愛する者との死別を通して」

発表 松本のぞみ氏（東北学院大学他非常勤講師）

第五回グリーンフケア公開研究会

二〇二五年三月一日（火） 一〇時三〇分～一二時（＝本学第二講義館K二〇九教室）

企画・司会 松本 周（本学一般教育部准教授）

「宮城学院で経験した三・二一」

発表 戸野塚 厚子（本学教育学部教授）

市野澤 潤平（本学現代ビジネス学部教授）

〈共同研究「南島における民族と宗教」・本学附属人文社会科学研究所 共催〉

二〇二四年十一月九日（土） 一三時～一六時（＝本学講義館三階C三〇八教室）

企画・司会 栗原 健（本学一般教育部准教授）

多賀城創建一三〇〇年記念 北と南の古代史―周辺から見る律令国家―

講師 山里 純一氏（名桜大学院特任教授）

コメンテーター 大平 聡氏（本学学芸学部特任教授）

四 所員消息（二〇二四年四月―二〇二五年三月）

早矢仕 智子 教授

論文 「大学の日本語教員養成課程における地域と連携した教育実習のデザインと課題―日本語教員養成課程担当教員へのインタビューから―」 中川祐治・澤邊裕子・早矢仕智子・杉本 香・西村美保（『大学日本語教

員養成課程研究協議会論集』第二二号、大学日本語教員養成課程研究協議会、二〇二四年三月三十一日）

論文「なぜ地域と連携した日本語教育実習を行うのか―大学の日本語教師養成課程担当教員の語りから見えるもの―」澤邊裕子・早矢仕智子・中川祐治・西村美保・杉本 香（『言語文化教育研究』第二二巻、言語文化教育研究会、二〇二四年二月三日、一〇九～一二九頁）

研究ノート「日本語教育人材育成のための新たな試み―東日本大震災の被災地における『市民性×日本語教育』ワークショップの実践報告―」澤邊裕子・早矢仕智子（『人文社会科学論叢』第三四号、本学人文社会科学研究所、二〇二四年三月三十一日、一三九～二四八頁）

学会フォーラム「もしあなたが住む地域に公立日本語学校があったら―作りたい学校・地域づくりのアイデアを出してみよう―」澤邊裕子・瀬戸稔彦・早矢仕智子（言語文化教育研究学会第一一回年次大会、三月一日、山口市KDDI維新ホール）

学会発表「東日本大震災の被災地で行う『市民性×日本語教育ワークショップ』のデザインとその成果―日本語教育を学ぶ六大学の参加学生と養成課程担当教員の振り返りから―」澤邊裕子・早矢仕智子（日本語教育学会二〇二四年度春季大会、二〇二四年五月二六日、オンライン）

学会発表「日本語教育を専攻する学生は『市民性×日本語教育』をいかに捉えたか―東日本大震災の被災地でのワークショップ参加者へのインタビューから―」澤邊裕子・早矢仕智子（小出記念日本語教育学会年次大会 第三三回、二〇二四年六月二九日、オンライン）

学会指定討論「JOPPとは何か―15分で実施する口頭能力テスト―」小島堅嗣（韓國日語教育學會第四五

回國際學術學會、二〇二四年四月二七日、梨花女子大學生・オンライン)

その他「市民性×日本語教育ワークショップ in 宮城」企画実施(共催 科学研究費補助金基盤研究(B)23K21943・(C)24K03974・文部科学省委託日本語教師養成研修推進拠点整備事業、二〇二四年八月二四日～二五日、大崎市立おおさき日本語学校、吉野作造記念館、中新田交流センター等)

その他「連携のための日本語教育実習研究会」第六回地域企画実施(主催 科学研究費補助金基盤研究(B)23K21943・二〇二五年二月二五日、オンライン)

栗原 健 准教授

共著『問い』から開く探求の扉』(宮城学院女子大学「探究」研究会、大学教育出版、二〇二四年四月一〇日担当部分・第五章「なぜシンデレラはガラスの靴を履いているのか?—小さな問いから始まる探求—」九九頁—一一五頁)

論文「「シャモジでもあっちこちに投げたら化けるって」・沖縄における杓子妖怪の伝承とその背景」(『沖縄研究ノート』宮城学院女子大学キリスト教文化研究所、第三三三号、二〇二三年三月三十一日、一九頁—三二頁)
新刊紹介 Joann DELLANEVA, *The Story of the Death of Anne Boleyn: A Poem by Lancelot De Carle* (『西洋中世研究』第一六号、二〇二四年一月、一五六—一五七頁)

新刊紹介 Luis GÓMEZ, Chiara BARVIERA, Pamela O. LONG, & William L. NORTH, *The Floods of the Tiber: With Additional Documents on the Tiber Flood of 1530* (『西洋中世研究』第一六号、二〇二四年

一二月、一六三頁)

本学キリスト教講座「キリスト教と福祉―ド・レペ神父と手話の普及」(二〇二四年五月一四日、ヴェリタス)

間瀬 幸江 准教授

授業実践報告「『子どもの権利』の視点を『基礎演習』に活かす―『意見表明権』の発見と活用に関する実践報告」『声のつながり』 第二号 (二〇二四年一二月)、一―二四頁、

映画上映会企画運営「『私だけ聴こえる』上映会&松井至監督トークショー、二〇二四年一〇月一二日、宮城学院女子大学講義館C202教室、(主催…宮城学院女子大学人文社会科学研究所、共催…同英文学科)

松本 周 准教授

共著『問い』から開く探究の扉』第3章「『どうして私は研究しているのか?―日本社会とキリスト教・宗教の関係を探究し続けて―』二〇二四年四月、大学教育出版

論文「東日本大震災はいかに語られたか 2011年度学校礼拝説教の調査分析」(『研究論文集』第138号、宮城学院女子大学、二〇二四年六月三〇日、三二―四九頁)

巻頭言「キリストのうちに自分を見いだす」(『教会学校教案』通巻五五二号、日本基督教団福音主義教会連合教育委員会、二〇二四年一二月、一頁)

学会発表「渡瀬常吉の反ユダヤ主張をめぐる考察」(日本基督教学会研究発表、二〇二四年九月三日、関西学院

大学)

キリスト教講座 「聖書から考える平和」(宮城学院キリスト教センター、二〇二四年一〇月一八日)

田 中 一 裕 教授

共著 「卒業研究に取り組むとはどういうことか―研究の作法―」、「クモの利き腕」、今林直樹(編)『「問い」から開く探究の扉』大学教育出版会、一九―四〇頁、四一―四二頁、二〇二四年四月

論文 「Weak and strong phase response curves of the onion fly circadian clock at temperature changes of 1 °C and 4 °C」(*Journal of Insect Physiology*, <https://doi.org/10.1016/j.jinsphys.2024.104618>, 二〇二四年五月)

論文 「What accounts for the difference in emergence times of *Drosophila melanogaster* between the first and second eclosion days?」(*Entomological Science*, <https://doi.org/10.1111/ens.12573>, 二〇二四年六月)

論文 「Geographical inositol content variation in the house spider, *Parasteatoda tepidariorum* (Araneae; Theridiidae)」(*Acta Arachnologica*, 73:115-116, 二〇二四年十二月)

学会報告 「Zeitgeber for eclosion timing in the onion fly - How do the underground pupae compensate the depth dependent phase delay of Zeitgeber?」(XXVII International Congress of Entomology, 国立京都国際会館、二〇二四年八月二七日)

講演 「動物の冬越し」(宮城いきいき学園石巻校・宮城県社会福祉協議会) 東松島市コミュニティセンター

(二〇二四年十月二日)

その他「第八四回日本昆虫学会大会報告」(昆蟲ニューシリーズ、二七卷一三二―一三五頁、二〇二四年九月)

天 童 睦 子 名誉教授(女性学・教育社会学)

論文「DXは現代における社会問題を解決できる手立てとなり得るか―女性と子どもの視点から」『日英教育誌』
第七号六一三頁(二〇二四年五月)

論稿「災害とジェンダー」日本婦人団体連合会編『女性白書二〇二四』出版芸術社、四八―五三頁(二〇二四年八月)

書評『「論理的思考」の文化的基盤』渡邊雅子著、『社会学評論』Vol.75, No.2、一六八―一六九頁(二〇二四年五月)

講演「仕事とくらしのジェンダー論…NHK朝ドラ「虎に翼」「はね駒」を手がかりに」宮城学院女子大学リカレント教育プログラム「ライフ・キャリアを創る」連続講座、於宮城学院女子大学(二〇二四年七月二七日)
講演「地域・家庭における男女共同参画」『男らしく』『女らしく』から「自分らしく」生きるために」気仙沼市男女共同参画講座、於気仙沼市役所(二〇二四年十月二七日)

講演「災害女性学をつくる」東京女子大学女性学研究所 WOMAN'S CAFE二〇二四年度第五回 オンライン開催(二〇二四年十一月四日)

講演「男女平等の視点に立った防災対策とは」第四七回男女平等推進フォーラム稲城二〇二四、於稲城市地域振興プラザ(二〇二四年二月一日)

八 木 祐 子 教授

研究ノート 「ボージプリー文化圏の婚姻儀礼と民族歌謡（その6）」『多民族社会における宗教と文化』No. 27、

宮城学院女子大学付属キリスト教文化研究所、二〇二五年三月三十一日、五頁～二〇頁

研究発表 「北インド農村における家族と住まいの変化―U. P. 州東部のある家族を中心に―」主催：科研（B）

「『住まいの記憶』」佐原民俗資料館、二〇二四年四月二〇日

研究発表 「北インド農村の変化―U. P. 州アザムガルの事例から―」『第1回U. P. 研究会』東京大学教養学部

18号館 1212号室、二〇二四年二月二十五日

模擬授業 「変わるインド社会と女性」『宮城県高大連携事業』（宮城学院女子大学、二〇二四年六月一日）

海外調査 北インド、ウッタール・プラデーシュ州アザムガル地区 二〇二四年八月二一日～二〇二四年九月六日

「北インド、ボージプリー文化圏における家族と女性―儀礼と民俗歌謡を中心として―」に関する海外調査（宮

城学院女子大学研究助成費）